

15 回生 服部賢作さん (佐賀市出身)



日本人であることを誇りに…
世界をより豊かなものへ!

- 1998年 4月 弘学館中学校入学
- 2004年 3月 弘学館高等学校卒業
- 2005年 4月 慶應義塾大学文学部入学
- 2009年 3月 慶應義塾大学文学部卒業
- 2009年 4月 伊藤忠商事株式会社入社
- 2015年 4月 ブラジル/サンパウロ駐在
- 2017年 4月 コロンビア/ボゴタ駐在

(2019年6月現在)



伊藤忠コロンビア会社
(ボゴタ駐在)
服部 賢作

中南米地域におけるエネルギー案件を担当しています。中南米は日本から遠いですが、「伊藤忠」の名を高めるべく、諦めずに動きまわることが私の使命です。

服部賢作さんのとある一日

- 8:30 出勤
- 9:00 メールチェック及びマーケット動向確認
- 10:00 社内電話会議 (英ロンドンと)
- 12:00 現地エネルギー省担当者とのランチ面談
- 18:00 社内電話会議 (東京と)
終了後、空港へ移動
- 22:10 ボゴタ発フライトにてエクアドル出張に出発
- 00:15 エクアドル・キト着

弘学館魂を胸に…

世界で戦う。

慶應義塾大学を卒業後、伊藤忠商事に入社。エネルギー部門に所属し、以来、石油・天然ガスをメインに、日本だけでなく、世界をフィールドにビジネスをしています。石油・天然ガスは、人々が豊かな生活を送る上で非常に重要な役割を担っています。15年4月からブラジル、17年4月からはコロンビアに駐在し、日本向け石油・天然ガスの確保のみならず、中南米の人々の生活のため、日々奔走しています。入社以来、仕事で訪れた国・地域は約40か国を数え、英語を主に、スペイン語・ポルトガル語も駆使し、時には一人で複数を相手に、交渉を行っています。商社で仕事を行う中で、大切なことの一つに、如何に積極的に自分で考えるか、ということがありますが、その姿勢は弘学館生活6年間で培われたものと思っています。

いつも貪欲に学ぼう!

変化することを恐れずに

商社は“人が資産”とよく言われます。メーカーなどと違い、自社で工場を持っている訳でも無く、常に自分で考え、自分の足で動き、ゼロからイチを創る、そしてそのイチを更に大きくする、それが商社の仕事の醍醐味の一つです。その中で、大切なのは、決して現状に甘んずることなく、貪欲に学ぶこと、だと思います。例えば、現在、エネルギー業界では、世界的に脱炭素の流れが進んでいます。このような中で、いつまでも石油に固執するばかりでは、遅かれ早かれ立ち行かなくなることが想像でき(石油の次は何なのか)を考え、先手のアクションを取ることが求められています。今、何が起こり、それに向け何が必要なかを、自ら率先して学び、そして、変化することを恐れずに、これからもトライし続けていきたいと思っています。

後輩へのメッセージ

普段心がけていることの一つに、「時間を如何に有効活用するか」ということがあります。1日24時間は、全人類が平等に与えられたものであり、その時間を漠然と過ごすのか、計画的に考え過ごすのか、とでは、1年、2年と経った時に、その時間を経て培ってきたものに、人により大きな差が出てきます。皆さんが弘学館で過ごす6(3)年間も同様で、ただ漠然と日々を過ごすのではなく、勉強でも部活でも何か目標を達成するには、今日この一日、何をすべきなのかを、しっかりと考えて、一日一時間一分一秒を大切に、悔いの無いよう生きてもらいたいと思います。